

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成19年5月24日(2007.5.24)

【公開番号】特開2005-250491(P2005-250491A)

【公開日】平成17年9月15日(2005.9.15)

【年通号数】公開・登録公報2005-036

【出願番号】特願2005-79017(P2005-79017)

【国際特許分類】

G 02 B 26/10 (2006.01)

B 41 J 2/44 (2006.01)

H 04 N 1/113 (2006.01)

【F I】

G 02 B 26/10 F

B 41 J 3/00 D

H 04 N 1/04 104 A

【手続補正書】

【提出日】平成19年3月29日(2007.3.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

光源手段と、該光源手段から出射した光束を反射面にて偏向する偏向手段と、該偏向手段の反射面で偏向された光束を被走査面上に結像させる合成樹脂から成る結像レンズと、を有する光走査装置であって、

前記結像レンズの有効走査部外に設けられた外形の主走査平面の形状を凹部とした領域に、光軸方向に伸びた突起状の主走査方向の位置決め基準部材を設けたことを特徴とする光走査装置。

【請求項2】

請求項1に記載の光走査装置を有するレーザービームプリンタ。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

上記目的を達成するための本発明に係る光走査装置は、光源手段と、該光源手段から出射した光束を反射面にて偏向する偏向手段と、該偏向手段の反射面で偏向された光束を被走査面上に結像させる合成樹脂から成る結像レンズと、を有する光走査装置であって、前記結像レンズの有効走査部外に設けられた外形の主走査平面の形状を凹部とした領域に、光軸方向に伸びた突起状の主走査方向の位置決め基準部材を設けたことを特徴とする。